

町政を問う!!

9 議員が質問・提案を

一般質問とは、町政全般について、フリーテーマで行政側に質問するもので、議員の権利のひとつとなっています。

町長の姿勢

南海トラフ地震対策

要配慮者は事前避難を



矢野 昭三 議員

問 臨時情報が出た時の避難方法、施設空間、衛生対策を問う。

答 松本町長

巨大地震警報・注意報が発表されると町内全域に高齢者等避難を発令し、必要な方の避難を呼びかけると共に親類や知人宅等への避難も呼びかける事になっている。自力で避難できない要配慮者は事前避難を基本としている。避難所は学校体育館等のため、通常の運営を行

っている。水は1日の必要量3万リットル確保している。薬は薬剤師管理のため、県薬剤師会幡多支部、幡多福祉保健所と協議中。新年度に非常時含め検討、医療計画を作成する。

問 道路啓開計画「3日以内」「3日を超える」「重機が不足、開始の目処が立たない」を問う。

答 松本町長

国道56号は3日以内に啓開できるが県道、町道の殆どは重機が不足しているため、啓開の目処が立たない。孤立する12地区には、衛星携帯電話を配備し通信の確保を図りヘリポートを28箇所設け外部からの支援体制を整えている。

問 地震津波により、佐賀支所の機能は崩壊するのではと考えるが、機能確保を問う。

答 松本町長

佐賀庁舎が被害を受けた場合は、拳ノ川総合保健センターを代替施設として定めているが、全てバックアップできる施設は無い。完全にそれをクリアするには支所を新しく建て替えるしか方法はない。



地震津波で被災が想定される佐賀庁舎

地域振興

土佐西南公園整備を

施設拡充を 県へ要望

問 佐賀東地区の用地取得地を整備し、住民福祉の向上に活用する事が重大な課題だ。姿勢を問う。

答 秋森産業推進室長

東公園多目的広場における施設の拡充および改善として防災面に配慮した広場の嵩上、屋内運動場の整備を県へ要望した。

問 若者が町で生活するには働く場が必要。伊与喜、熊井、佐賀付近で企業用地等の取り組みを問う。

答 今西海洋森林課長

南海トラフを震源とした地震による津波浸水の区域外に町外企業の誘致、佐賀地区内の既存の工場や水産加工場等の移転も視野に入れた公共用地の



活用が期待される東公園グラウンド背後の買収地

概略調査を佐賀地区の5箇所完了している。現在伊与喜、熊井、藤縄地区内で2箇所調査、3月末に完了予定。佐賀地区事前復興まちづくり計画の具体的な方針、高規格道路、佐賀インターの開通等、この機会を逃さず更に検討を進める。

【その他の質問】
・防災対策について